

第8回（平成28年度 第1回）自転車等施策検討協議会 議事録	
日時	平成28年5月26日（木）10:00～12:00
開催場所	関内中央ビル 10階 大会議室
出席者	委員：委員名簿を参照 事務局：9名
資料	式次第、委員名簿、説明用資料（資料1～資料4）
<p>1. 開会</p> <p>①開会あいさつ (事務局)</p> <p>※開会あいさつ後、会議の公開、報道機関の傍聴、写真撮影等に関する説明</p> <p>※配布資料について確認</p> <p>※以降の議事進行を議長に引き継ぎ</p> <p>2. 議事</p> <p>①パブリックコメントの実施結果及び自転車総合計画原案について (事務局)</p> <p>※資料1・2を用いて、パブリックコメントの実施結果及び自転車総合計画原案に関して説明</p> <p>(岡村会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パブリックコメントの回答を受けて、素案が原案という形になっていく段階のため、ご発言がありましたら、お願いします。</li> </ul> <p>(サイクルライフナビゲーター 絹代委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パブリックコメントでは、色んな知識、考え方がある方々があり、全てを対象にして進めるのは難しいことと改めて思った。</li> <li>参考意見がほとんどだと思うが、今、日本でメインとなっている考え方になりつつある内容も含まれているため、今後の計画を進める中で、随時参考にしていただけたらよい。</li> <li>今回の内容を受けて、一番しっかりと前進できるものは「まもる」という部分と思う。「ハマチャリルールブック」の「チャリ」という言葉におしかりを受けたり、地域によってルールが違うことを知らない方も多いため、表現に気をつけつつまとめていけたらと思う。</li> <li>母子手帳を渡すところから指導を、という意見があるが、原案ではこのニュアンスが消えて、子育て世代という表現になっている。母子手帳などのニュアンスを入れ、薄れないようにしていただきたい。</li> <li>パブリックコメントの意見にもあるが、ペダルの付いていない「キックバイク」などの問題も、少し触れておいた方がよいと思う。</li> </ul> <p>(横浜市交通安全母の会 五反田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠中の母親は、中々時間が取れない状況もあり、4カ月健診のときに、チャイルドシートの取付け方などを伝えているので、自転車に対してもこの時に一緒に教育した方がよい。子どもの事故は親しか守れないということを徹底して、連携しながら伝えていきたい。</li> <li>改めて集まる、周知する、ということは難しいため、妊娠の時期を利用できたらと思う。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「まもる」の取組の中で、ルールブック等は計画の大きな一つの柱と考え、丁寧につくっていきたい。協議会の中でも、ルールブックが確定する前に全体構成などの意見をいただきたいと考えている。</li> <li>子育て世代の啓発について、「まもる」の中で世代ごとに学べる場を拡充する方向となっている。子育て世代とひとくくりにせず、母子手帳、乳幼児健診、各区子育て支援拠点などで展開を考えている。</li> <li>キックバイクは、法的な位置付けを含め、自転車というくくりの中で、総合計画の中でどのような記載ができるのか検討したい。</li> </ul> <p>(岡村会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本日の会議として、これは原案としての確定ということでよい。</li> </ul>	

(事務局)

- ・いただいた意見を踏まえ事務局で修正し、確定ということになる。協議会ではこの段階で確定となる。

(神奈川県自転車商協同組合 鈴木委員)

- ・キックバイクについて、法律上の扱いはわからないが、自転車と考えると p43 の図のように親子が車道と歩道にわかれて乗るケースも出てくると思うので、少し触れておいた方がよいのではないかと。

(事務局)

- ・キックバイクについて、意見を踏まえ検討する。

(横浜商工会議所 福田委員)

- ・パブリックコメントの意見にある、コミュニティサイクルと既存の駐輪施設との一体的な運営があるが、自転車で来る人が、コミュニティサイクルに乗り換えることが現実的にあるのか疑問。

(事務局)

- ・現状でも、市営駐輪場の一部分を使用するケースがある。事務局としては、ポートを増やしていく取組の中で、駐輪場用地の活用もあると想定している。

(岡村会長)

- ・協議会としては、これをもって原案確定ということによろしいか。

(各委員)

- ・はい。

(岡村会長)

- ・ありがとうございました。

## ②自転車適正利用キャンペーン実施結果及び愛称の選定について

(事務局)

※資料3を用いて、キャンペーン実施結果及び愛称の選定に関して説明

(岡村会長)

- ・愛称の決定と、マップや点検等の報告があったが、まずは愛称以外の点で意見を伺いたい。

(鈴木委員)

- ・自転車商協同組合では、参加いただいた店舗に聞いたところ、想定より多く来店したとのこと。
- ・普段店舗に来ない方が多かったようで、整備の重要性などを訴えることができたと聞いている。

((一財)横浜市交通安全協会 島田委員)

- ・横浜市交通安全協会では市営の自転車駐車場7箇所で、自転車の安全点検を実施し、期間中100台弱が来場した。
- ・空気を入れる等の対応の他、安全点検の重要性に関する意識啓発等を展開した。

(岡村会長)

- ・どうもありがとうございました。
- ・それでは、愛称について検討を進めるが事務局より候補6案が示されている。確認として、「審査の視点」は、応募いただいたときに示しているということか。

(事務局)

- ・事前に愛称の選定、基準は示しておらず、自由に色々なご提案をいただいた形である。

(絹代委員)

- ・この計画書に副題としてつくると考えると、例えば“リンリンプラン”等の言葉は軽く感じる。
- ・「プラン」という言葉が保険商品のように見えたり、難しい。
- ・愛称は正式名に対し、どの程度強調されるのか。それによって愛称に求められる重さが違うと感じる。

(事務局)

- ・本来の呼び名は「横浜市自転車総合計画」であり、サブタイトル的なイメージと考えている。

(絹代委員)

- ・計画の内容は「まもる」だけではなく、「とめる」「はしる」とか、色々含まれるため、「まもる」印象だけが強くなる愛称は合わないのではないかと。

(神奈川県警察本部交通総務課 久保田委員)

- ・個人的には候補②か③あたりが良いと考える。候補①は計画というには言葉が軽いと感じる。候補②③は「まもる」だけでなく、全体の「とめる」「はしる」「いかす」も含まれた言葉と考える。

(島田委員)

- ・候補①の“リンリン”は自転車を示す言葉だと思うが、それがまっすぐ伝わるのかは疑問。
- ・この中で選ぶとすると、候補②か③あたりかと思う。個人的に候補③は、現行の「ハマの自転車保険」に似た感じを受けるので、候補②がよいかと考える。

(五反田委員)

- ・周囲の人に聞いた時「リンリン」が分かりにくいと感じたようである。この中で選ぶのであれば、候補②の「快適サイクルプラン横浜」が一番かと思う。

(鈴木委員)

- ・個人的には候補②がよい。候補③の「はまっ子自転車安心プラン」もよいが、古くからの住民だけ、子どもだけ、と感じる人もいる。

(横浜市道路局 松尾委員)

- ・流れで行くと候補②もよいと思う。

(絹代委員)

- ・“プラン”という言葉は、保険商品、旅行商品のイメージを醸し出していると感じる。“プロジェクト”という言葉であれば、計画を大きいプロジェクトとして強く打ち出すように感じられる。

(福田委員)

- ・候補①③④を合わせて、「ハマカゼ自転車セーフティプラン」ということも考えられるのではないかと。

(東京急行電鉄(株)鉄道事業本部沿線企画課 平江委員)

- ・候補①はカタカナばかりで、消去法で最初に消えた。
- ・候補②③④⑤を比較したとき、快適、安心、セーフティなど、どの要素をおすのかにより変わると考える。安全と快適の両方が入った案があればいいがないため、どの要素をおすのか、が重要となる。

(絹代委員)

- ・原案の表紙にある「自転車を正しく使って、みんなが快適に過ごせるまちへ」の副題は残すのか。残すと三段表示になるがそのような考えでよいか。

(事務局)

- ・目標像として、残していく予定です。ケースバイケースと思うが、最大では、本題、愛称、目標像の三段表示となる。

(絹代委員)

- ・計画を見た人が「一緒に動かなければいけない」という名前がよいと思う。

(神奈川県警察本部交通規制課 角田委員)

- ・安全・安心、快適の両方を兼ね備えたものがないのか、両方兼ね備えたものがないのか、両方あれば「正しく使って、みんなが快適」ということがいきると考える。この中で決めるのであれば、候補②か④と思う。

(岡村会長)

- ・「プラン」という言葉は、行政は分かりやすいが、市民がどう思うのか。一方、「プロジェクト」という言葉は、“市民と一緒にやっていく”視点では分かりやすいが、行政としては具体的な事業でないと感じにくい。
- ・最終的なゴールを市民に示すには「プラン」、市民と一緒に一つひとつつくり上げる行動、担い手としての意識を持っていただくのであれば「プロジェクト」と考える。
- ・事務局として、どのように愛称を使うのか、ゴールを示すのか、一人ひとりの行動を促したいのか、その辺りで決まると感じている。

(事務局)

- ・総合計画を親しみやすく、より分かりやすく、の観点がスタートであるため、ゴールを示すイメージと事務局としては思う。

(絹代委員)

- ・副題は一般の方にも意識してほしい、巻き込みたい、ということと思う。“我々意識”が持てるものでなければ、副題を付けて親しみやすくする意味がないと感じる。

(島田委員)

- ・他の意見を聞くまで候補②とっていたが、一緒に行動するなど動的な雰囲気を出すのであれば、必要最低限の手直しで、プランをプロジェクトに変える等はあるかと思う。

(絹代委員)

- ・意外と「横浜ハッピー自転車計画」もあるのではないかと。「横ハピ」など意外性のあるものも若い世代が「なんでハッピーなのか」と考えるかもしれない。候補としては、候補②か⑤があるかと思う。
- ・愛称をつけるのであれば、自分たちのものと感じてもらえるものがよいと思う。

(福田委員)

- ・応募要領を見ると、自転車等施策検討協議会で大賞を決定する予定とある。この候補の中から大賞を決定し、そのまま使っていくという考えでよいか。

(事務局)

- ・そのように考えている。

(平江委員)

- ・目黒区でマラソンの名称を同じように決めたとき、一番良い案に言葉をプラスする等の手直しを行い、応募者に了承を取り確定したケースがある。何か言葉をたす、変えるなどをしてはどうか。

(事務局)

- ・協議会の意見として、手直しの意見をいただいた場合は、応募者と調整し、変更していくこともあると考える。そういった視点も含めて、ご検討いただきたい。

(岡村会長)

- ・これは“愛称”であり、“キャッチコピー”ではないという認識でよいか。

(事務局)

- ・そのように考えている。

(絹代委員)

- ・キャッチフレーズは、「自転車を正しく使って、みんなが快適に過ごせるまちへ」だとすると、本当の愛称でよいということになる。その点では候補①「ハマカゼリンリンプラン」もあり得るか。

(角田委員)

- ・役所内部では、正式名称の他に、勝手に呼びやすい愛称をつけることもある。そのような愛称という意味では、簡単な候補①もあり得る。

(岡村会長)

- ・ご意見は分かれているが、大方の方向性がはっきりしてきたと感じる。

(松尾委員)

- ・役所の中では、計画を読み替えるときに「プラン」を使うため、受け止めやすい。「プロジェクト」という言葉は、事業が付いてくる感じがある。今回の計画は個別事業もあるが、全体のとりまとめの要素が強く、計画、プランという方が収まりがよいという背景がある。

(絹代委員)

- ・「リンリンプラン」という言葉には広がっていくというイメージがわきにくい。また、“リンリン”という言葉は、道路交通法違反となるような「ベルを鳴らす」ことが連想される。

(岡村会長)

- ・色々なご意見はあるが、中々決定打が無い、というところである。その旨は議事録に記載していただきながら、決を採ることになるか。
- ・候補③④⑤については、かなり具体的に過ぎる感があるがどうか。

(島田委員)

- ・候補③④はそのとおりと思う。候補⑤の“ハッピー”という言葉は、色々な意味も考えられる。

(絹代委員)

- ・「セーフティ」に振りすぎると、他の要素が入り難い。また、経済用語等でも「セーフティ」という言葉は、今回のイメージと異なる意味合いを持つ気もする。

(岡村会長)

- ・少なくとも“総合”では無い感じを受ける。

(岡村会長)

- ・では、多数決を採り、上位となった候補に対して、使い方等を含めてこれでよいかとしたい。

※各委員1票で多数決を実施。結果は以下のとおり。

【1位】候補② 8票 【2位】候補⑤ 2票 他0票

(岡村会長)

- ・多数決では、候補②⑤のどちらかとなるが、それぞれコンセプトが異なる。事務局として、どのような使い方をしていきたいかによると考える。

(事務局)

- ・使い方もあるが、賛成の多かった候補②を協議会の意見とし、さらに「ここをもっと」というご意見があれば、応募者との調整を含めて進めていきたいと考える。

(岡村会長)

- ・票差があるため候補②が大賞となると考えるが、得票のあった候補⑤を含めて手直しの必要があるか意見をいただきたい。

(絹代委員)

- ・「みんなの」などの言葉をつけて、「みんなの快適サイクルプラン」等にすることで、“我々意識”を持ってもらうことに繋がるのではないか。

(岡村会長)

- ・市民一人ひとりが自覚を持ち積極的に参加する、という意味合いは、入れるのであれば愛称以外には入っていない。「みんなの」等の言葉を入れるという参考意見を受けて事務局検討としてはどうか。

(事務局)

- ・熱心なご議論、本当にありがとうございました。いただいた意見を踏まえ、事務局として、応募者との調整を含めて進めさせていただく。

(岡村会長)

- ・候補②を大賞とする。これに、全員参加という意味の言葉を加えるかどうか検討し、確定してほしい。

### ③28年度のスケジュール及びまちづくりと自転車環境整備の連動について

(事務局)

※資料4を用いて、スケジュール及びまちづくりと自転車環境整備の連動に関して説明

(岡村会長)

- ・何かご意見等あるか。とくに無いようであれば、今後、太枠の内容を中心に、報告を受け、意見を伝えていく、と言うこととなる。

(事務局)

- ・熱心なご議論をいただきまして、本当にありがとうございました。
- ・限られた時間の中でいただいた様々なご意見を反映し、原案として確定させていただきます。
- ・愛称について、いただいたご意見を踏まえた対応をさせていただきたいと思えます。
- ・今後、市の議会に報告し、確定版として公表させていただきます。委員の皆さまには、適宜メール等で情報提供させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

・以上をもちまして、協議会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

以上